



櫻井 喜久江  
(無所属)

ゴミの減量化・峠の湯  
道の駅について

ゴミの減量化について

問 群馬県は個人がゴミステーションに出すゴミの量が全国で一番多いが、市の対策は。

答 古紙・古着の回収、市内環境保全団体等の廃食用油回収、エコスポットでペットボトル等の回収を実施しています。

問 生ゴミを堆肥に変える処理機の補助金の周知と、ゴミ減量化の講習会の開催については。

答 市ホームページで周知を行っています。広報等で一層の周知を図ります。講習会は出前講座も実施中です。今後定期開催に向けて考慮していきます。

峠の湯について

問 リニューアルオープン後、一年が経過したが、入場者数と経営状態については。

答 入館者数は十五万二千六百六十八人、年間収益約千七十万円です。近隣住民等が以前あったシャトルバスの運行と年間チケット

を望む声への対処は。

答 現在、十人以上の団体と六十五歳以上の方四人以上についてバスを出しています。今後、市民の要望を聞き、検討します。

問 市観光大使のEmiiさんのコンサートや峠の湯周辺の絵画コンクールなどのイベントの開催については。

答 今後も来場者が楽しめる企画を検討します。

その他、道の駅設立の進捗状況について質問しました。



碓氷峠の森公園「峠の湯」



武者 葉子  
(公明党)

安心して暮らせるまちづくり。  
子育て世代の支援。  
命の授業について

地域包括ケアシステムについて

問 住み慣れた地域で、安心して医療や介護が受けられる在宅医療の体制は。

答 安中、原市、松井田の圏域に、在宅医療関係者会議を毎月開催、地域の課題を把握、連携協力を進めています。

オレンジカフェの開催について

問 身近な所で、認知症の理解や相談の出来るオレンジカフェを実施する自治体が増えているが、市の考えは。

答 サポーターに協力していただき、サロン形式で開設を計画しています。

保育の充実について

問 育休取得時の退園措置の撤廃の考えは。

答 保育所への入・退所の不安を取り除く先進的な取り組みで、今後の参考にします。

予防接種について

問 B型肝炎ワクチンの対象外児

への助成の考えは。

答 制度の周知に努めます。

子ども食堂について

問 孤食や地域の居場所的な役割の子ども食堂へのサポートは。

答 地域づくりに繋がるよう連携し、取り組みます。

「赤ちゃん先生」プロジェクトの導入について

問 じかに赤ちゃんに触れ合うことで、命の大切さを学ぶ授業は。

答 生命の大切さを育む指導が行えるよう支援します。



赤ちゃん先生の授業風景